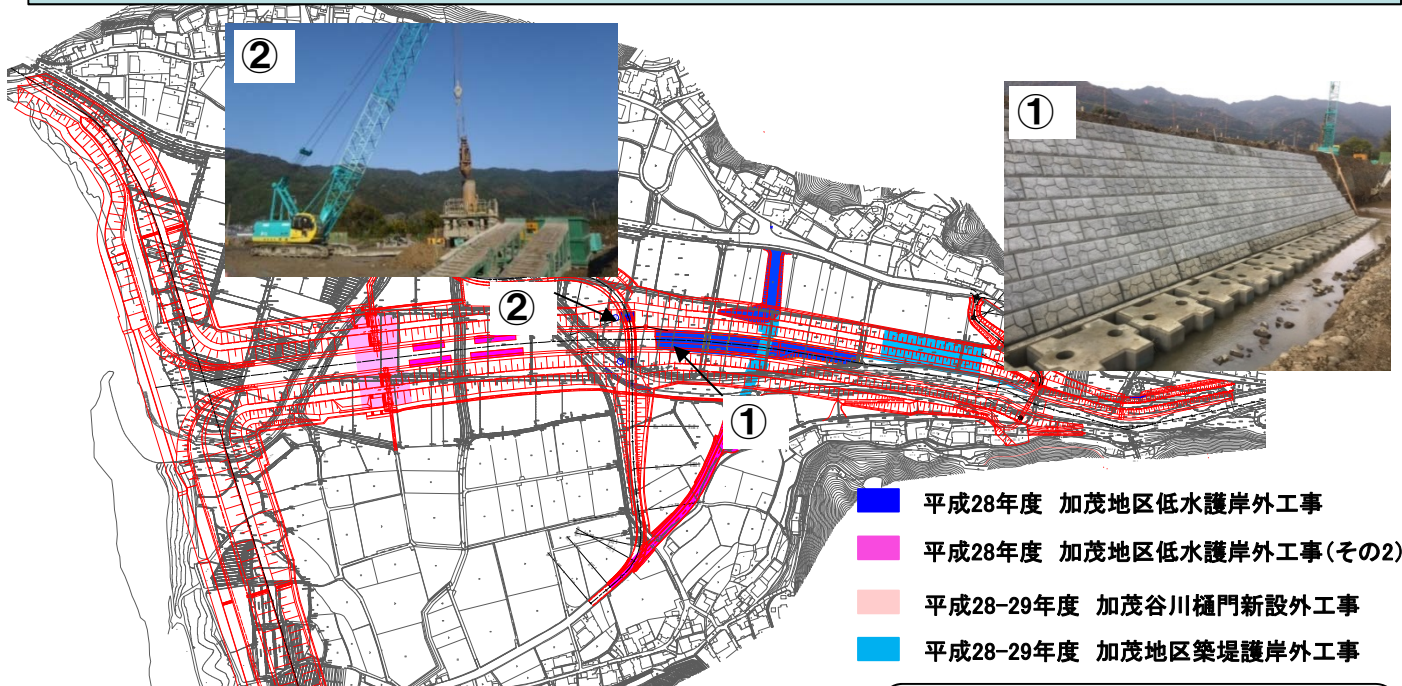


今年も残すところあと少しになりました。朝晩寒くなってきましたが、みなさま恙なくお過ごしでしょうか。さて、今回の「加茂堤防便り」では、9月から始まりました工事の進捗状況や、用地取得のお礼、阿南市長への要望状況、埋蔵文化財調査の状況などをお伝えします。なお、今後ともみなさまに役立つ「加茂堤防便り」にしていきたいので、ご意見・ご要望等あれば教えてください。

## 工事の進捗状況



### 平成28年度 加茂地区低水護岸外工事

- ◆ 施工業者：中幸建設(有)
- ◆ 工期：H28.7.30~H29.2.28
- ◆ 内容：低水護岸、橋梁下部、仮設道路

### 平成28年度 加茂地区低水護岸外工事(その2)

- ◆ 施工業者：株湯浅土建
- ◆ 工期：H28.10.19~H29.3.15
- ◆ 内容：低水護岸、仮設道路

### 【手続き中】

### 平成28-29年度 加茂谷川樋門新設外工事

- ◆ 工期：H28.12月下旬~H29.7月下旬
- ◆ 内容：樋門・樋管、低水護岸

### 【手続き中】

### 平成28-29年度 加茂地区築堤護岸外工事

- ◆ 工期：H28.12月下旬~H29.7月下旬
- ◆ 内容：築堤護岸、低水護岸、仮設橋

皆様に、少しでも完成後の様子をイメージしてもらうために、現在の航空写真に堤防や道路の絵を重ねてみました。

## 【用地取得へのご協力について(お礼)】

加茂堤防の用地取得を開始いたしまして、この11月でちょうど1年になります。加茂地区の用地取得率(面積)は約9割を超えており、これもひとえに、地区の皆様への理解、ご協力があったことによるものです。特に、補償説明については、ご多忙の中でお時間を頂き、大変感謝しております。これからも、早期の堤防完成に向けて分かりやすい補償説明を行ってまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

なお、補償説明の中で皆様からお預かりしましたご意見等は、工事担当にしっかりと引き継いでおりますが、何かお気づきの点がございましたら、いつでもご連絡を頂けたらと思います。

(用地職員一同)

## みなさまから頂いた意見へのお答え

➤ 皆様から様々な場面で頂いた意見のうち、回答できるものを順次回答します。

ご要望	お答え
新しい加茂谷川は蛍がたくさん集まる場所になってほしい。	護岸ブロックに蛍が繁殖しやすい環境を作るなど、工事に対応できることは実施中です。完成後の維持管理や繁殖のための活動は、地元の方々が中心となって継続してもらう必要がありますが、まずは皆様と一緒に勉強会を行いたいと思います。
宗田地区の降雨は直接加茂谷川へ排水してほしい。(上水水源地横の谷水が内水にならない工夫が必要と考える。)	【(回答)国交省 那賀川河川事務所】 ご意見の通りで、我々も直接加茂谷川に排水する必要があると認識しており、最終的な構造は現在設計中です。取り急ぎの対応として、我々国交省の工事で溜まっている土砂を撤去しました。(大谷谷も同様に対応。)

### 加茂町運営委員会及び加茂町築堤推進委員会から阿南市長への要望状況(平成28年11月24日)



【要望内容】 ※項目のみ抜粋

1. 内水処理ポンプの設置
2. 築堤事業で発生する特に目的の決まっていない土地の有効活用
3. 県道迂回路(仮県道)の復旧時の市道改良
4. 辻上地区に防火用水槽
5. ホタルや小魚が住み着きやすい自然環境に配慮した構造の新加茂谷川

### ～編集部便り～

楽しくない仕事じゃない、  
けど、楽しいだけが仕事じゃない

我々の仕事は、加茂地区の床上浸水を解消するために必要な施設をつくることです。また、皆様のご要望を受け、少しでもそれを反映させることも仕事です。これまで、様々な場面で皆様とお話しさせて頂き、日々加茂地区への愛着が湧き、その分やりがいを感じています。しかし、楽しいだけが仕事ではありません。皆様からの苦情や叱咤もしっかり受け止め、少しでも皆様に喜んでもらえる堤防や道路になるように頑張っていきます！現場の工事も進み始めました。これからもうぞよろしくお祈りします！

### 【埋蔵文化財調査の状況報告】

徳島県埋蔵文化財センターでは、堤防工事に伴って発見された先人の生活の痕跡を後世に残すため、発掘調査を実施しています。現在、大西地区と宮ノ前地区では、弥生時代と鎌倉・室町時代の生活の跡を発見しており、弥生時代については竪穴住居跡を2軒(およそ1900～1800年前)確認しています。また、鎌倉・室町時代については、建物の存在を示す、多くの柱穴を確認しています。地元の皆様のご協力のおかげで、発掘調査が進んでおり、ご協力感謝致します。

(徳島県埋蔵文化財センター)



弥生時代と鎌倉・室町時代の生活の跡が見つかった当時の地面(奥は十八女橋)



穴の中からは鎌倉・室町時代の土器片とともに土鍾(どすい、管状の焼き物:網のおもり)が出土



柱(中央の縦に黒い部分)を引き抜いた後、川原石と土器を埋めて土地の神様にお祀りした様子



河原の石で周囲を囲った弥生時代終わり頃の墓



弥生時代の住居跡から出土したサヌカイト(讃岐石)製の鎌(やじり)

### 【お問い合わせ】

那賀川河川事務所(国交省)  
用地に関すること: 豊田、佐藤 0884-22-6830  
工事に関すること: 清水、三國 0884-22-6542  
阿南市 特定事業推進課  
田村、檜 0884-22-3197



### 今回の1枚



かも道からの加茂谷川！  
絶景！！